

2 地域における子どもの読書活動の推進



(1) 読書に親しむための人づくり

① 図書館等における人づくり

図書館は地域の知の拠点として、地域住民の学習活動を支え、情報を提供するサービスを行っています。また、子どもの読書活動や学習活動を支えていくには、読書ボランティアなどの人材育成とともに、職員の資質向上にも取り組む必要があります。

○ 読書ボランティアの養成支援 **重点取組③**

県立図書館では、各市町村の読書活動推進の担当者や教職員、社会教育施設の職員、市町村で活動する読書ボランティアの指導的立場にある人等を対象に、生涯学習指導者研修「読書活動実践コース」を開催します。

読書ボランティア団体の活動の現状やニーズをふまえたうえで研修を企画し、子どもの読書をめぐる状況、読み聞かせや絵本づくり等の手法、ユニークな実践事例等の情報提供を研修で行うことにより、市町村における読書ボランティアの養成の促進と指導者の養成を図ります。

《読書ボランティアと連携した活動事例》

「としょかん情報発信局」の取組（座間市立図書館より）

「としょかん情報発信局」とは、座間市立図書館を拠点とした図書館と市民をつなぐボランティア団体です。壁新聞等で地域の身近なできごとを図書や資料に関連づけて発信しています。

また、座間市立図書館は、読書ボランティアと連携して、調べ学習の関連事業にも取り組んでいます。



としょかん情報発信局のコーナー

○ 市町村図書館職員を対象とする研修の実施

県立の図書館や神奈川県図書館協会^{*6}が実施する、市町村図書館職員を対象とする研修において、子どもの現状や子どもの読書活動の必要性、児童サービスの知識・技術等についての理解を深めることにより、子どもの読書活動に習熟した人材を育成します。

^{*6} 神奈川県図書館協会 … 神奈川県図書館協会（K L A）は、昭和3（1928）年に設立されました。県内の公共図書館、大学図書館、専門図書館などの図書館が加盟し、調査研究や広報活動、図書館職員の研修など、図書館の発展と利用者サービス向上のため、多彩な活動を展開しています。

○ 市町村図書館の取組についての情報提供

市町村図書館における子どもの読書活動にかかわる先進的な事例や特色のある事例を収集し、市町村図書館職員向け情報誌への掲載や、研修会での紹介など情報提供を行うことにより、市町村図書館における取組を支援します。

② 公民館等における人づくり

公民館は地域の学習拠点であるとともに、その役割の一つに「図書、記録、模型、資料等を備え、その利用を図ること」（社会教育法第22条）が挙げられており、子どもの読書活動の推進を図る拠点となることが求められます。

○ 公民館担当者を対象とする研修の実施

県立図書館と神奈川県公民館連絡協議会^{*7}との共催により、公民館担当者等を対象とする生涯学習指導者研修「公民館担当者コース」を実施し、図書館との連携など読書に関する講座の企画等についての理解を深めてもらうことにより、子どもの読書活動にかかわる人材の育成を図ります。



「公民館担当者コース」事例発表の様子

○ 公民館への情報提供

公民館における読書に関する講座等、子どもの読書活動にかかわる先進的な事例や特色のある事例を収集し、研修会での紹介など情報提供を行うことにより、公民館での取組を支援します。

○ 放課後児童クラブ・放課後子ども教室への情報提供

市町村を通じて、放課後児童クラブや放課後子ども教室に対し、子どもの読書活動に関する資料や、読書活動を取り入れた指導方法等の情報提供を行うことにより、読書活動の推進を支援します。

○ 児童館への情報提供

児童館では、図書室を設け、子どもが読書に親しめるような環境が整備されていることが多く、子どもの読書活動に関する資料等を配付することにより、図書室を活用した子どもの読書活動の一層の推進が図られるよう支援します。

^{*7} 神奈川県公民館連絡協議会 … 神奈川県公民館連絡協議会は昭和27（1952）年に設立されました。公民館相互の連携を図り、公民館活動の振興に努め、社会教育の進展に寄与することを目的に活動を展開しています。（28ページ参照）

③ 支援を要する子どもに向けた人づくり

支援を要する子どもたちが読書活動に親しむために、子どもの実態に応じた読書活動が行えるような人づくりが求められます。

○ 読書活動を支援するボランティアの活用の促進

神奈川県ライトセンター^{*8}では、視覚障害者の読書活動を支援するボランティアの養成を行っています。県では、その取組について特別支援学校を中心に情報提供を行うことにより、読書ボランティアの活用の促進を図ります。

《読書ボランティアの取組事例》

平塚点訳赤十字奉仕団（平塚市社会福祉協議会内）の活動

平塚点訳赤十字奉仕団では、県立平塚盲学校等からの依頼で、点訳活動（文字や点字に訳すこと）や、リーディングサービス（本や資料などを読むサービス）などの活動を週一回程度行っています。

（2）読書に親しむための環境づくり

① 図書館等における環境づくり

図書館や公民館では、子どもや保護者が本に関心をもち、親しむ機会を多くもてるよう、読書環境を整備することが求められています。

○ 県域の図書館ネットワークの推進

県立の図書館は、大学等にK L - N E T（神奈川県図書館情報ネットワーク・システム）^{*9}への参加を促すことにより、その拡充を図るとともに、県民にK L - N E Tの利便性について周知し、活用の促進に取り組みます。

○ 市町村図書館のホームページにおける子ども向けのページ開設の促進

子どもや保護者が読書への関心を高めていくためには、図書館のホームページに子ども向けのページを設け、図書館が行っているサービスや行事の案内、ブックリストの紹介などを行うことが有効です。そこで、市町村図書館に対して、子ども向けのページにかかわる取組事例の情報提供を行ったり、会議等の場を通じてはたらきかけたりすることにより、子ども向けのページの開設を促進します。

取組目標

★市町村図書館ホームページにおける子ども向けのページ開設市町村数

（平成25年度：14市町村 → 平成30年度：18市町村）

^{*8} 神奈川県ライトセンター … 神奈川県ライトセンターは、視覚障害のある方のための図書の相互貸借システムや郵送等による貸出サービスを行っています。（28、29ページ参照）

^{*9} K L - N E T（神奈川県図書館情報ネットワーク・システム） … 5ページ参照

○ 公民館における環境づくり

施設内に児童書を配架している公民館は、161館中117館（神奈川県公民館連絡協議会^{*10}「公民館の実態調査」平成24年度）あります。公民館における読書の環境づくりを進めるため、今後も児童書の充実を図るようはたらきかけます。

② 支援を要する子どもに向けた環境づくり

支援を要する子どもが、読書に関心をもち親しむためには、さまざまな機会や場を設ける必要があります。近年では、身体的な障害だけでなく、学習障害などの日常では分かりにくい障害のある子どもや、日本語を母語としない子どもへの対応も必要となっています。

○ 障害のある子どもに向けたサービスの促進

障害のある子どもと読書をつなぐには、点字図書^{*11}、さわる絵本^{*12}、布絵本^{*13}、録音図書^{*14}（DAISY）^{*15}、拡大図書^{*16}、LLブック^{*17}（やさしく読める本）、対面朗読^{*18}や宅配サービス^{*19}など、障害に応じた資料やサービスの提供が求められます。

そこで、障害者の読書活動を支援している市町村図書館の取組や、視覚障害者の読書活動を支援している神奈川県ライトセンター^{*20}の取組について情報提供を行うことにより、資料やサービスの活用の促進を図ります。また、市町村図書館における障害者サービスや視覚障害者等へのサービスを行うインターネット図書館「サピエ」の実施状況について、情報提供を行うことにより、市町村図書館における取組を支援します。



^{*10} 神奈川県公民館連絡協議会 … 26ページ参照

^{*11} 点字図書 … 視覚障害のある利用者が、指先などによって触読できるよう、点字により表現された図書資料です。

^{*12} さわる絵本 … 視覚障害のある子どもたちが、手でさわって鑑賞できるように制作された絵本です。

^{*13} 布絵本 … 布などを使い、手芸の技法を用いて絵画的表現や立体表現を作りだす絵本です。

^{*14} 録音図書 … 文字で書かれた図書を音声化した図書です。

^{*15} DAISY … Digital Accessible Information System（デジタル音声情報システム）の略称。

^{*16} 拡大図書 … 文字や図表を大きくした図書で、主に弱視の人たちの利用を想定して制作されています。

^{*17} LLブック … 知的障害等により通常の活字図書の利用が困難な人向けに、図や写真を多く使うなどの工夫をした本で、スウェーデン語で“やさしく読める”を意味する「lattelast」という語の略からLLブックと言います。

^{*18} 対面朗読 … 7ページ参照

^{*19} 宅配サービス … 図書館への来館が困難な、利用者個人の手元に資料を届けるサービスです。

^{*20} 神奈川県ライトセンター … 27ページ参照

（参考文献：『最新図書館用語大辞典』 柏書房 2004年／『障害者サービス（図書館員選書12）』日本図書館協会 1996年／『児童サービス論（JLA図書館情報学テキストシリーズⅡ）』日本図書館協会 2009年）

《神奈川県ライトセンターについての情報提供》

神奈川県ライトセンター*21は、視覚障害のある子どもや大人のために、全国ネットの「サピエ」を活用した図書の相互貸借システムや郵送等による貸出サービスを行っています。

「情報提供事業」では、点字や録音（DAISY*22、テープ）図書・雑誌等の貸出・閲覧を行っています。また、全国の視覚障害者情報提供施設（点字図書館等）の図書を借りることができます。

その他「指導訓練事業」「スポーツ振興事業」「ボランティア育成事業」「普及啓発事業」等もを行っています。

本を読んで録音をしています。



《インターネット図書館「サピエ」についての情報提供》

「サピエ」は、視覚障害者をはじめ、視覚によって字を読むことが困難な方々に対し、さまざまな情報を点字・音声データで提供するインターネット上の図書館です。サピエ図書館は、日本点字図書館がシステムを管理し、全国視覚障害者情報提供施設協会が運営を行っています。

神奈川県内では、神奈川県ライトセンターをはじめ11の団体が登録しています。

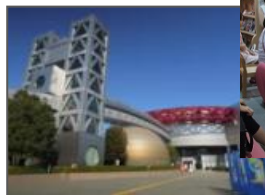
○ 日本語を母語としない子どもに向けたサービスの促進

日本語を母語としない子どもの読書活動を推進するには、市町村図書館において、多言語による図書館の利用案内や図書館内の掲示、多言語でのおはなし会などの取組が必要です。

そこで、あーすぷらざ（神奈川県立地球市民かながわプラザ）*23における取組や、市町村図書館における日本語を母語としない子どもを対象とするサービスの実施状況について情報提供を行うことにより、市町村図書館における取組を支援します。

《あーすぷらざ（神奈川県立地球市民かながわプラザ）についての情報提供》

「あーすぷらざ」内にある、映像ライブラリーには、世界の文化や歴史にまつわる絵本や物語、環境問題や平和をテーマにした図書やDVD、外国語で書かれた絵本などをそろえた「こどもコーナー」があります。そこでは春、夏、冬の学校の休みに、日本語と外国語で交互におはなしを読む、絵本の読み聞かせ会や、テーマに合わせた図書の特集展示を実施しています。



「こどもコーナー」での読み聞かせ会のようす

*21 神奈川県ライトセンター … 27 ページ参照

*22 DAISY … 28 ページ参照

*23 あーすぷらざ（神奈川県立地球市民かながわプラザ） … 7 ページ参照